

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	3 月	5 日	記入者	西田裕美
調査者名	小倉	春日	仲谷	西田	安川

文化財名	八幡神社社叢				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	2008年(平成20) 3月28日				
所在地	奈良市月ヶ瀬桃香野5281				
所有者 管理者	八幡神社				
員数					
時代区分					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	参道階段横の広場に、奈良県教育委員会の説明板がある。				
公開	見学自由				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 (私には樹木の識別ができないので判断できない。樹勢は大変良いと感じた。)				
当面の課題	地形上、入りづらい所ではあるが、文化財指定の暖地性植物相の美林の現状について、県のほうで定期的に把握していただきたい。				
今後の課題	月ヶ瀬でも鹿が農業に害を与えているようだが、このまま鹿も人もこの森に入らないで今までの環境を守ってほしいと思う。				
その他 (由緒など)	古木の多い暖地性植物相の美林。桃香野集落は五月川(名張川)に面した高台の東南面に位置し、冬の北西風にさらされることが少なく気候が温暖。河岸の急傾斜地にあるため、人もニホンジカ等も進入し難いためか、特に草本層の植生は極めてよく保存され、種類数は40～60種を数え、面積に比して多く生育している。「奈良県内の低平地上部の照葉樹林として学術的に、また環境保全上重要な森林である」とされている。				
コメント	神社そのものについては、前の広場に巨大な防火水槽があったり、新しいトイレの建物があったりしてよく守られている印象を受けた。社叢はこの神社を囲む位置にある。川側は急傾斜地でもとより誰も入ることはないが、社殿の反対側については階段のようなものがあった。人も動物も入らないことがこの社を守ることになると思われるので、そのことを地元の方とも共通認識して手入れしすぎることをないように伝えておくことが必要と感じた。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

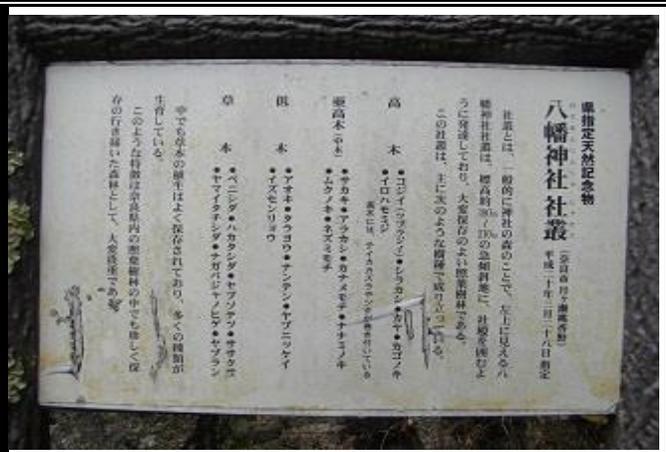
調査日	2021 年	3 月	5 日	記入者	西田裕美	
調査者名	小倉	春日	仲谷	西田	安川	

文化財名	八幡神社社叢
------	--------

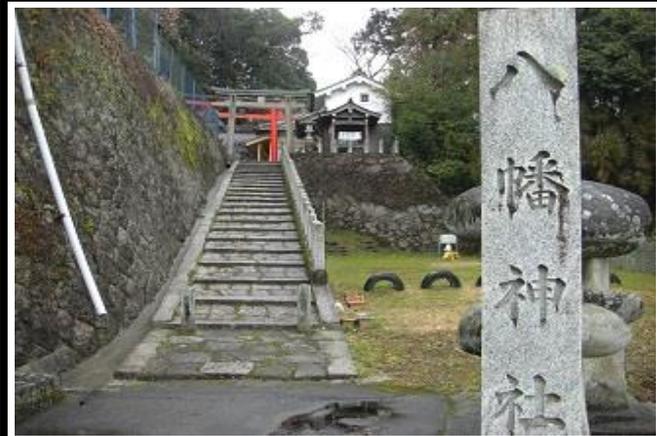
本殿の背後にそそり立つ巨木の多い社叢



珍しく保存の行き届いた照葉樹林との説明



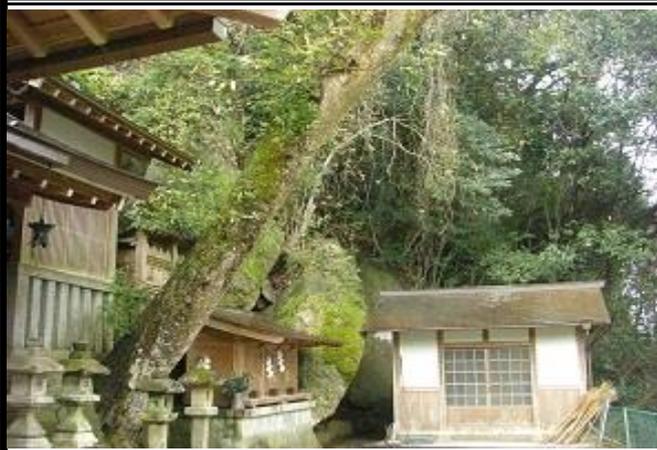
参道階段右の広場の奥に説明板



説明板の後ろの石垣にもツタがからむ。右は崖



拝殿の後ろにもツルの絡む木 その後ろに巨岩



神社前からの絶景、すなわち神社や社叢は崖の上

